主催：一般社団法人北海道環境保全技術協会
後援：一般社団法人土壌環境センター

平成 30 年度第 1 回環境保全技術セミナー

日時：平成 30 年 7 月 6 日（金）、14 時 00 分～16 時 35 分
場所：札幌国際ビル 8 階　国際ホール（札幌市中央区北 4 条西 4 丁目 1）

【セミナーの内容】

１.『乾式磁力選別による重金属含有土壌の浄化等処理技術について ～DME 工法の紹介と最近の取組事例～』

［概要］ 当社が開発した「乾式磁力選別処理工法（DME工法）」は、自然由来に代表される低濃度の重金属含有土壌に適した浄化等処理技術である。本工法は、複数の土壌処理施設へ技術導入がなされているほか、現地土壌処理工事へと広く活用されている。本発表では、このDME工法に関する技術説明に加え、最近の取組や適用事例について紹介する。　　［発表者］DOWAエコシステム株式会社　ジオテック事業部技術部　課長　吉　俊輔 氏

２.『シールド工事等で発生する重金属含有泥水を浄化する鉄粉洗浄磁気分離技術“M・トロン”』

［概要］ 自然由来重金属を含む地盤を掘削するシールド工事など、重金属を含む建設汚泥や発生土が大量に発生し得る工事では、オンサイトにて連続的に浄化処理できる技術のニーズがある。当社では、鉄粉に重金属を吸着させ、超電導磁石を用いた磁気分離により鉄粉を回収して浄化する「M・トロン」を開発し、実際のシールド工事や工場跡地の浄化工事に複数件適用した。それらの工事実績をもとに、本技術の原理や特長を紹介する。
［発表者］鹿島建設株式会社　技術研究所 岩盤地下水グループ 石神 大輔　様

３.『堆積軟岩地域おけるトンネル掘削発生土の対応事例』

［概要］　泥質岩を主体とする堆積軟岩地帯に計画されたトンネル掘削発生土から、砒素の基準不適合が認められた。発生土対応の経緯と道路盛土として使用後の周辺の地下水状況等について紹介する。
［発表者］日本工営株式会社 基盤技術事業部 副技師長 鈴木 弘明 様

セミナー参加者　９３名　大変貴重な技術、事例をご紹介いただきました。
意見交換会参加者　３４名　発表者も交え親睦も深まりました。